

ファンドマネージャーの眼

ファンドマネージャー独自の視点で市況を分析



『パラダイムシフト』

2017年12月8日

運用本部

日本の大手ゲーム企業の株価が好調に推移しています。年初から12月6日時点の任天堂の株価騰落率は年+76%（昨年末比）と、東証株価指数（TOPIX）の+16%（同）を大きく上回っています。株価上昇の一番の要因は、任天堂が今年3月3日に発売した新型ゲーム機「Nintendo Switch（ニンテンドースイッチ）」の世界的ヒットと考えられます。据置機と携帯機の両方の性質を備え、「いつでも、どこでも、だれとでも」遊べるという独自の特徴などが好感され、発売当初から世界中で品薄状態が続いています。足元の旺盛な需要を背景に、任天堂は10月下旬に18年3月期の販売台数目標を1000万台から1400万台に引き上げました。新たなゲーム機の普及は任天堂だけでなく、ソフトを供給するゲーム企業にとっても事業機会の拡大という点で恩恵を享受できると思われま

す。また、ニンテンドースイッチの発売以外にも、筆者はゲーム業界に好影響を与える2つの大きな変化が起きていると考えています。一つはデジタル販売の浸透です。各ゲーム企業の業績推移をみると、インターネットを通じてゲームソフトを販売するデジタル販売比率が徐々に上昇していることが窺えます。デジタル販売の利点としては、在庫や欠品リスクの解消、柔軟な価格設定、ゲームバランス調整や不具合修正への迅速な対応などが挙げられます。また、店舗スペースに依存しないですむことから、従来は場所の制限によって販売できなかった旧作ゲームソフトの需要を取り込めるなど、販売機会の増加がゲーム企業の利益成長を後押しすると期待されます。

そして、もう一つの変化がeスポーツの台頭です。eスポーツとはエレクトロニック・スポーツの略称で、コンピューターゲームやビデオゲームで行われる競技のことを指します。近年、海外を中心に盛り上がりを見せており、大規模な大会では1億円を超える賞金が出るケースもあり、獲得賞金で生活するプロゲーマーなどが存在するなどゲーム市場の活性化につながっています。日本においてはeスポーツの普及を妨げる法律などが足かせとなっており、海外と比較して遅れを取っている状況ではありますが、任天堂などはeスポーツと親和性の高いゲームソフト「Splatoon（スプラトゥーン）2」を用いた大会を日本各地で開催するなど、eスポーツの普及に向けた活動を進めており、今後の動向が注目されます。また、eスポーツは単なるゲーム市場の

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、あくまで情報提供を目的としたものであり、一部主観及び意見が含まれています。最終的な投資判断は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、ファンドマネージャー等の実際の運用等に何ら制限を加えるものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

拡大だけでなく、イベント開催に伴う興行収入の増加や、視聴人口の拡大に伴う広告収入の増加などが期待されるなど、多岐にわたる業界に大きな影響を与える可能性があると考えます。

以上のようにゲーム業界は大きな転換期（パラダイムシフト）を迎えており、各ゲーム企業はそれに合わせてプロモーション戦略や開発体制の見直しなどを進めています。株式運用者としては、業界の構造変化に柔軟に対応して利益を生み出せる企業への投資を通じて、ファンドのパフォーマンス向上に努めていきたいと考えています。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、あくまで情報提供を目的としたものであり、一部主観及び意見が含まれています。最終的な投資判断は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、ファンドマネージャー等の実際の運用等に何ら制限を加えるものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。